

Luxman

BELT DRIVE ANALOG PLAYER

PD-191AL

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンのアナログプレーヤー PD-191 AL をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHK がラジオの本放送を開始した 1925 年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、90 余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

目次

使用上の注意	1
本機の特徴	2
お使いの前に	4
各部の名称と用途	6
組立て方法	10
接続方法	14
操作方法	16
ブロックダイアグラム	17
規格	18
修理に出される前に	19
アフターサービスと品質保証について	21

使用上の注意


BELT DRIVE ANALOG PLAYER PD-191AL

設置する場所

- ・外部からの振動を受けにくく、水平で安定した場所を選んでください。
- ・テレビやカラーモニターの近くに本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

再生中は本機を絶対に動かさない

再生中に本機を動かすと針飛びが起き、再生針やレコード盤を傷つけることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずターンテーブルを停止させレコード盤を取り外してから電源を切ってください。さらに電源ケーブル、フォノケーブルのピンプラグを抜き、ターンテーブル、ターンテーブルシートを外してから移動させてください。

次のような場所は避けてください

- ・直射日光のあたる所
- ・湿気の多い所や風通しの悪い所
- ・極端に暑い所や寒い所
- ・振動のある所
- ・ホコリの多い所
- ・油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物を乗せないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ離して入れてください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、機器が結露します。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、使用することが可能になります。

夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

注油について

スピンドルには専用のオイルが使われておりますので、お客様で注油をしないでください。

製品のお手入れについて

- ・本体は通常、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いてください。
- ・アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装が傷むことがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- ・お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

安全上のご注意



本機は重いので、開梱や組立て、持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。

ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- 窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。

本機の特徴

ベルトドライブ

モーターの振動と回転ムラをベルトの弾性で減衰させ、円滑な回転を得るベルトドライブ方式を採用。

回路構成

モーターのホール素子により回転速度を計測し、短時間で滑らかに設定回転速度に到達する PID 制御方式を採用。

ストロボ・スコープ

正確な回転数調整に便利な LED 式の反射視型ストロボ・スコープを搭載。

アームベース

別売のアームベースを取り付けることにより、さまざまなトーンアームが取り付けられ、音の変化を愉しむことができます。また、本体後部に 12 インチ・ロングアームを取り付け可能な専用アームベースも、別売オプションとしてご用意しています。

高性能基準クロック

速度補正用基準クロックには温度特性の優れた MEMS 発振器を使用。

33 ⅓ / 45 / 78 回転対応

33 ⅓、45 回転に加え、SP レコードの 78 回転にも対応。

重量級ターンテーブル

回転精度を高めるためアルミ地金から削り出した、自重 5.2kg の重量級ターンテーブル。
慣性モーメントは約 $0.7\text{t} \cdot \text{cm}^2$ を実現。

高剛性メインシャーシ

15mm 厚のアルミ削り出し板をベースに、板厚 3.2mm の板金製ボトムプレートを含むシャーシ筐体が吊り下がるアンダースラング制振構造を採用。

大型スピンドル

安定した回転をサポートするボールベアリング仕様の大口径ポリエーテルエーテルケトン（PEEK）軸受けを採用したスピンドル。

セパレート制振構造

トップパネルへの振動の伝わりを遮断するため、電源トランスとモーターを防振ゴムを介して板厚 3.2mm の板金製ボトムプレートに装着。

大口径インシュレーター

オーディオラック等、外部からの不要な振動やシャーンシの振動を吸収し、熱に変換する防振ゴムを採用。

ターンテーブルシート

レコード盤の浮きを抑え密着度を増すことで、より安定した音楽信号のピックアップを実現した振動吸収ラバー採用の新開発ターンテーブルシート。

AC インレット

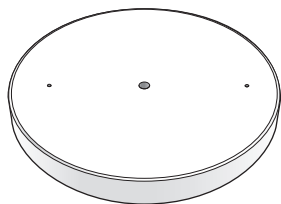
外付け電源ケーブルの装着を可能にするハイグレードな金メッキ（非磁性処理）AC インレットを採用。

お使いの前に

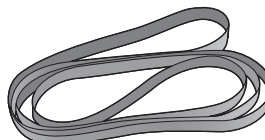
付属品の確認

次の付属品が同梱されていることをご確認ください。

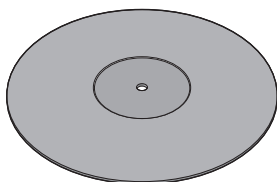
- ・ ターンテーブル



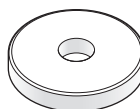
- ・ ゴムベルト



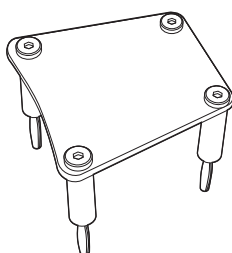
- ・ ターンテーブルシート



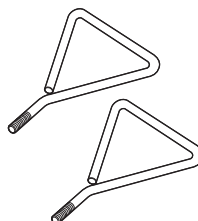
- ・ EP アダプター



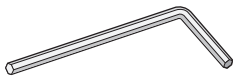
- ・ プーリーカバー



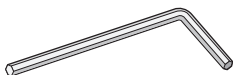
- ・ ターンテーブル取り付けハンドル (2 個)



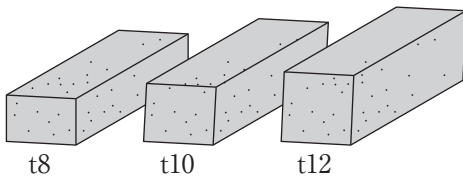
- ロングアームベース取り付け部飾りネジ
取り外し用レンチ (2.0mm)



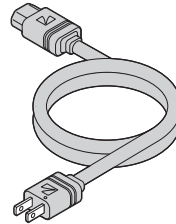
- アームベース取り付けレンチ (3.0mm)



- フォノケーブル固定クッション

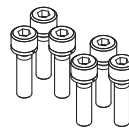


- 電源ケーブル (JPA-15000)



※付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

- アームベース取り付け用ネジ (M4 × 16 6本)

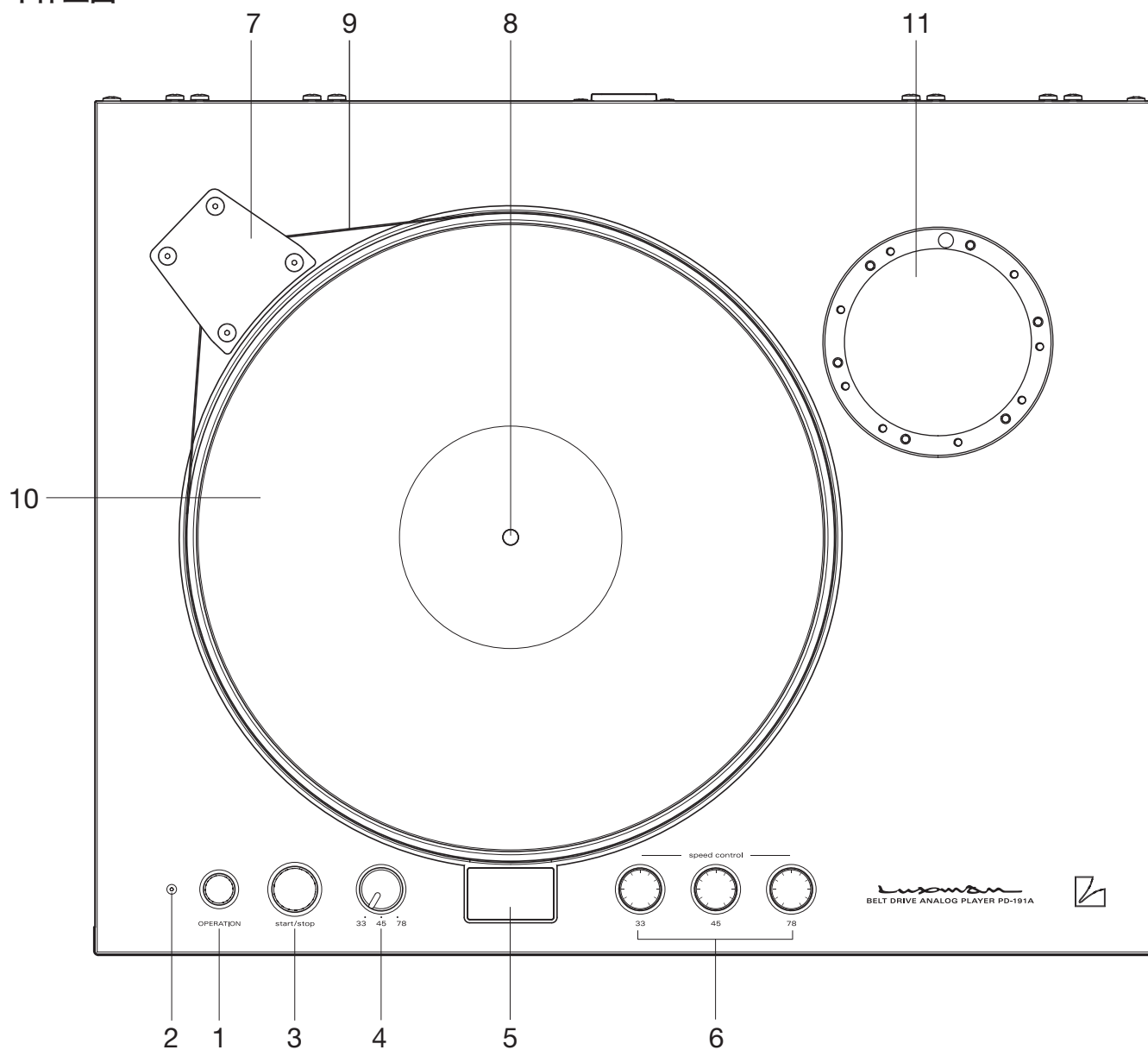


- 印刷物

保証書
プレミアム延長保証登録申請書
安全上のご注意
サービス情報
取扱説明書 (本書)

各部の名称と用途

本体上面



1. オペレーション・スイッチ (OPERATION)

電源をオン / オフするためのスイッチです。

☐ : ON

□ : OFF

2. オペレーション・インジケータ

電源を入れると、このインジケータが点灯します。

3. スタート・ストップスイッチ (start/stop)

このスイッチを押すと、ターンテーブルが選択された回転数で回転を始めます。

ストップのスイッチを兼ねてますので、回転中に再度押すとターンテーブルが停止します。

4. 回転数切替スイッチ (33 / 45 / 78)

ターンテーブルの回転数を、33 ⅓ / 45 / 78 回転に切り替えるスイッチです。
お聴きになりたいレコード盤の回転数に合わせて選択してください。

5. ストロボ・スコープ

ストロボ・スコープ内の表示（長方形）が停止して見えるように回転数微調整ボリュームを合わせてください。

6. 回転数微調整ボリューム (33 / 45 / 78 speed control)

- 33 回転数切替スイッチを 33 に合わせて、ストロボ・スコープから見える表示が停止して見えるように調整します。
- 45 回転数切替スイッチを 45 に合わせて、ストロボ・スコープから見える表示が停止して見えるように調整します。
- 78 回転数切替スイッチを 78 に合わせて、ストロボ・スコープから見える表示が停止して見えるように調整します。

7. プーリーカバー

回転するプーリーを保護するカバーです。
ターンテーブルを回転させる時には必ず装着してください。

8. センター・スピンドル

レコード盤を装着するセンター軸です。
EP 盤を演奏する場合はここに EP アダプター（付属）を装着してください。

9. ベルト

モーターの回転をターンテーブルに伝えます。

10. ターンテーブルシート

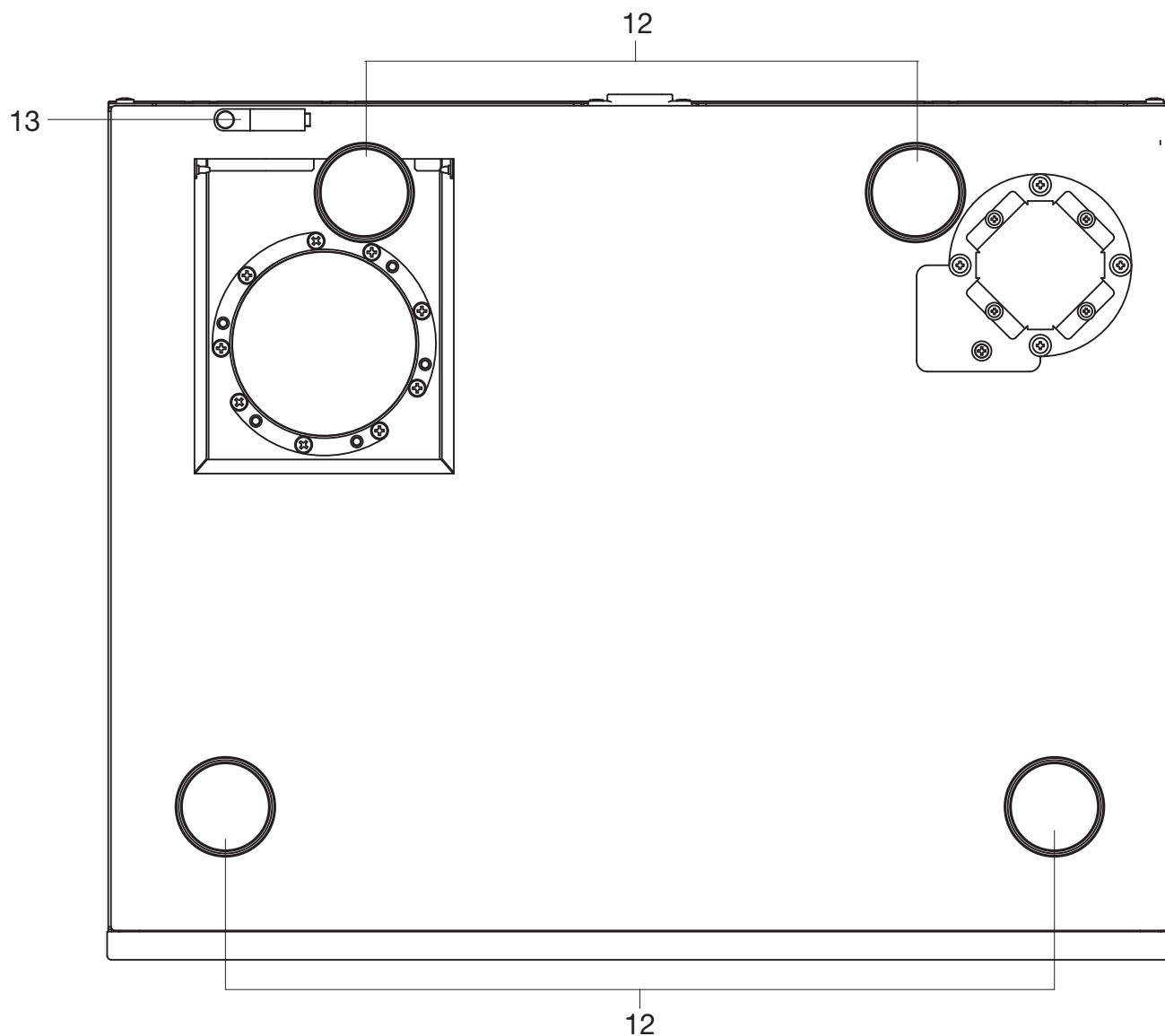
ターンテーブルの鳴きを抑え、レコード盤をターンテーブルに密着させます。

11. アームベース取り付け部

別売のアームベースを取り付けることで、お手持ちのトーンアームを取り付けることができます。
出荷時には輸送用カバーが付けられていますので外してください。
別売のアームベースを取り付ける際には、本機に付属しているアームベース取り付けネジ（M4 × 16 6本）を使用してください。
別売アームベースおよび適用トーンアームについては 10 ページの 1. トーンアームの取り付けを参照してください。

各部の名称と用途

本体裏面



12. インシュレーター

プレーヤー全体を支えるとともに、ハウリングや外部からの振動を吸収します。

このインシュレーターは出荷時に一番低く設定されていますが、5mm まで高くする事が可能です。

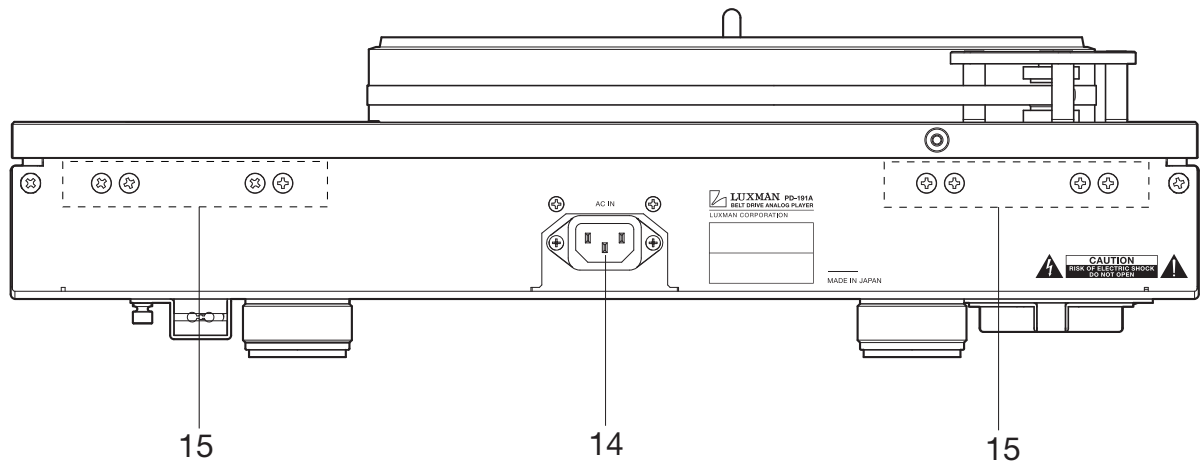
本機を水平にする時にお使いください。

※インシュレーターは本体から取り外さないでください。

13. ケーブルホルダー

フォノケーブルを固定します。

本体背面



14.AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブル (JPA-15000) を接続して、壁のコンセントから電源を供給します。

15. ヒンジ受け金具取り付け部

別売りのダストカバー (OPPD-DSC191) の取り付け部です。

ヒンジ受金具を取り付けるためのネジを取り付けてあります。

ダストカバーを使用しないときでもネジは取り外さずそのままにしてください。

組立て方法

組立てが完了するまで、本機の電源を入れないでください。

1. トーンアームの取り付け

本製品には別売のアームベースを取り付けることでお手持ちのトーンアームを取り付けることができます。
別売のアームベースと適合トーンアームは以下の表のようになっています。

製品名	適合トーンアーム	内容物
OPPD-AB1	SME 3009R / 3010R / Series M2-9R / Series M2-9, M2-10 / Series IV , V	アームベース、取り付けレンチ、アーム取り付け ネジ（4本） ^{※1} 、取扱説明書
OPPD-AB2	FR64 / 64S / 64FX、IKEDA IT-345	アームベース、取り付けレンチ、取扱説明書
OPPD-AB3	SAEC WE-308	
OPPD-AB4	SAEC WE-407 / 23	
OPPD-AB5	ORTOFON AS-212S / RD-212D	
OPPD-AB6 ^{※3}	ユニバーサル（アーム取り付け穴なし）	
OPPD-AB7	LUXMAN LTA-710	アームベース、取り付けレンチ、取扱説明書 アームベース取付ねじ（2本） アーム取り付けネジ（4本）
OPPD-AB11L ^{※2}	SME 3012R, 3012-R special SME 3012, 3012 series II	

※1：添付されているアーム取り付けネジ（4本）は Series M 2-9、M2-10、Series IV、Vを取り付けるためのネジです。トーンアームに付属しているネジを使用せず、別売アームベースに添付されているネジを使用してください。

※2：本アームベースはロングタイプのトーンアームを使用するために本体の側面に装着します。詳しい取り付け方はアームベースの取扱説明書をご確認ください。

※3：OPPD-AB6 アームベース（ユニバーサル）はトーンアーム取り付け穴がありません。お客様のお手持ちのトーンアームが別売のアームベースの適合トーンアームにないときは、このアームベースに以降の条件をもとにトーンアーム取り付け穴を加工することで取り付けすることができます。

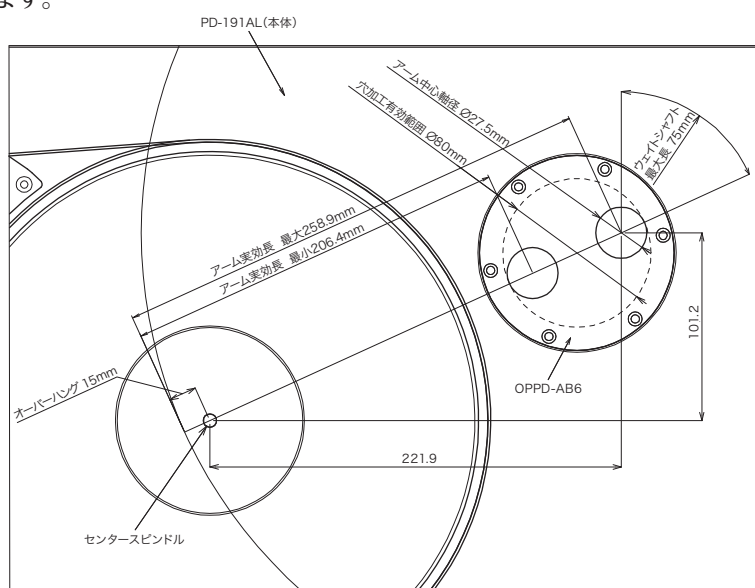
- ・アームベース適合実効長範囲
：206.4mm～258.9mm
- ・トーンアームの高さ（アームベース面より）
：84.5mm 以内^{※4}
- ・ウェイトシャフトの最大長：75mm
（最大有効長のトーンアームを取付けた時の寸法）^{※4}

※4：ダストカバーを取り付けた場合の制限寸法です。

想定寸法

- ①オーバーハング：15mm
（センタースピンドルと針先までの距離）
- ②アームベース取り付け穴径：Φ 27.5mm

①、②寸法がお手持ちのトーンアームの寸法と異なる場合は寸法差を考慮して本アームベースに取り付けできるか確認して下さい。



トーンアーム適合寸法図

注：加工した部分はニッケルメッキ処理がなくなり、材料の真鍮が表出いたします。

真鍮は時間経過と共に酸化し黒ずんだ色に変化しますので、ご了承ください。

トーンアームの取り付け方法は以降の手順にしたがい、本体（PD-191 AL）やアームベースにキズを付けないように注意して行ってください。また、トーンアームを交換する場合は、本体（PD-191 AL）の電源ケーブルはあらかじめ抜き、ターンテーブルシート、ターンテーブル、ベルトを外してから作業を行ってください。

取り付けてからのアームの調整はお手持ちのトーンアームの取扱説明書の記載内容に従い調整してください。

(1) トーンアームのアームベースへの取り付け

お手持ちのトーンアームを購入したアームベースに取り付けるときは別売アームベースに添付されている取扱説明書にしたがい取り付けてください。

(2) アームベースの本体（PD-191 AL） への取り付け

本体（PD-191 AL）の取り付け部に金色シールが貼られていますので、金色シール同士が同じ位置にくる様にアームベースを置き、本体（PD-191 AL）のネジ穴と合うように位置を調整します。次に、本体（PD-191 AL）に付属している取り付けネジ（M4×16 6本）を付属のアームベース取り付けレンチ（3mm）を使用し、確実にネジ止めしてください。

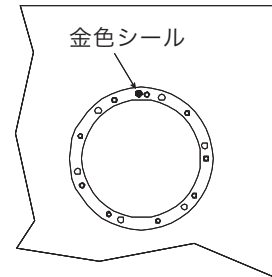
注：ネジ締めが緩いと音質に悪影響を与えることがありますのでしっかりと締めてください。

(3) フォノケーブルの取り付け、固定

トーンアームに付属のフォノケーブルをトーンアームに確実に接続します。

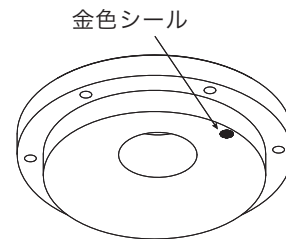
本機に付属のフォノケーブル固定クッションでフォノケーブルを固定します。

取り付けに最適な厚みを選んで使用してください。

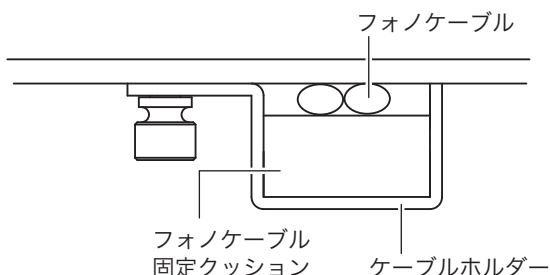


本製品のアームベース取り付け部

本体取り付け時に金色シールが合うように配置する。



アームベースの金色シール貼り付け位置（一例）



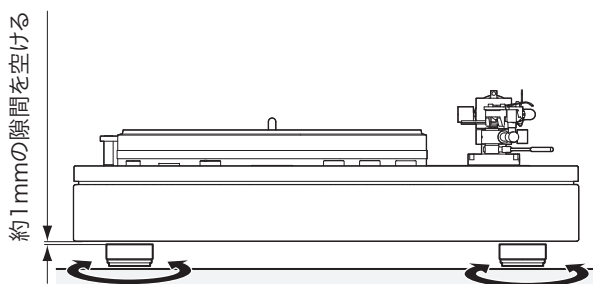
組立て方法

2. 本体を設置する

なるべく水平なラックに設置してください。

傾きがある場合は裏面4ヶ所のインシュレーターを回転させ、プレーヤー全体の水平バランスを調整してください。水平を調整する時は、1mm程ボトムとの間に隙間を設けてから調整してください。

調整後、ボトムとインシュレーター間に隙間があることを確認してください。この隙間は、インシュレーターの効果を上げ、再生音質向上に効果があります。



イラストのトーンアームは一例です。

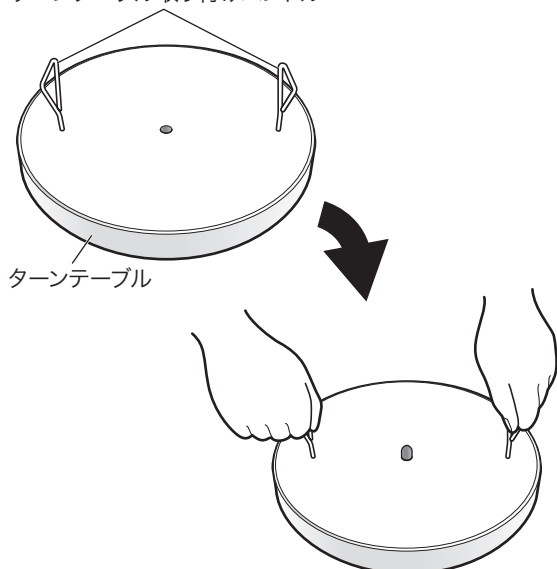
左回りで上昇、右回りで下降します。

3. ターンテーブルをのせる

付属のターンテーブル取り付けハンドルをターンテーブル上部に装着し、それを持って本体のセンタースピンドルに乗せます。

ターンテーブルは必ず両手で持ち、センタースピンドルに無理な負荷がかからないように注意しながら取り付けてください。取り付け後は、取り付けハンドルを外し保管してください。

ターンテーブル取り付けハンドル

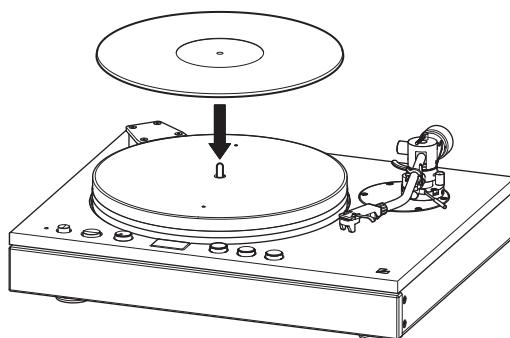


ターンテーブルは重いので、取り扱いには充分にご注意ください。

4. ターンテーブルシートの装着

中央にへこみのある面が表です。

センタースピンドルに合わせて取り付けてください。



イラストのトーンアームは一例です。

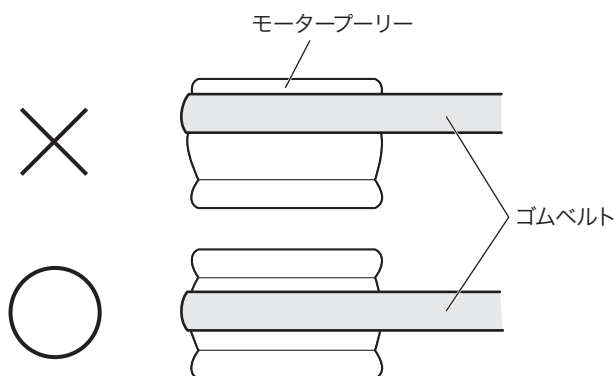
ターンテーブルシートを装着すると、中央部が浮く場合があります。

浮いた時は指で押し、ターンテーブルに密着させてください。

5. ベルトをかける

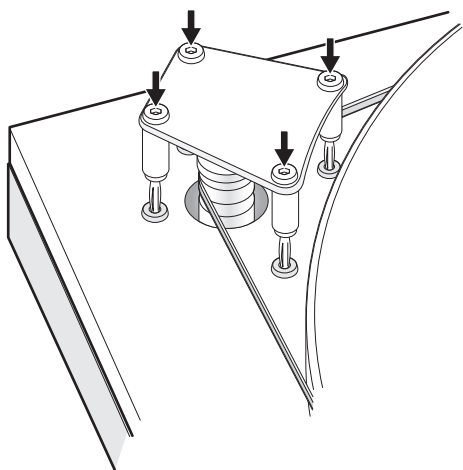
はじめはターンテーブルにかけてください。その後にターンテーブルからベルトをつまんでプーリーにかけます。

手でターンテーブルを数回まわし、ベルトがプーリーの正しい位置にかかっていることを確認してください。



6. プーリーカバーの装着

下図のとおり四隅均等にゆっくり差し込んでください。



7. トーンアームの調整

各種調整は、お手持ちのトーンアームの取扱説明書にしたがい行なってください。

以下は調整の一例です。

- ・ トーンアーム高さ調整
- ・ オーバーハング調整
- ・ ラテラルバランス調整
- ・ アンチスケイティング調整
(インサイドフォースキャンセラー調整とも呼ばれます)
- ・ 針圧調整など

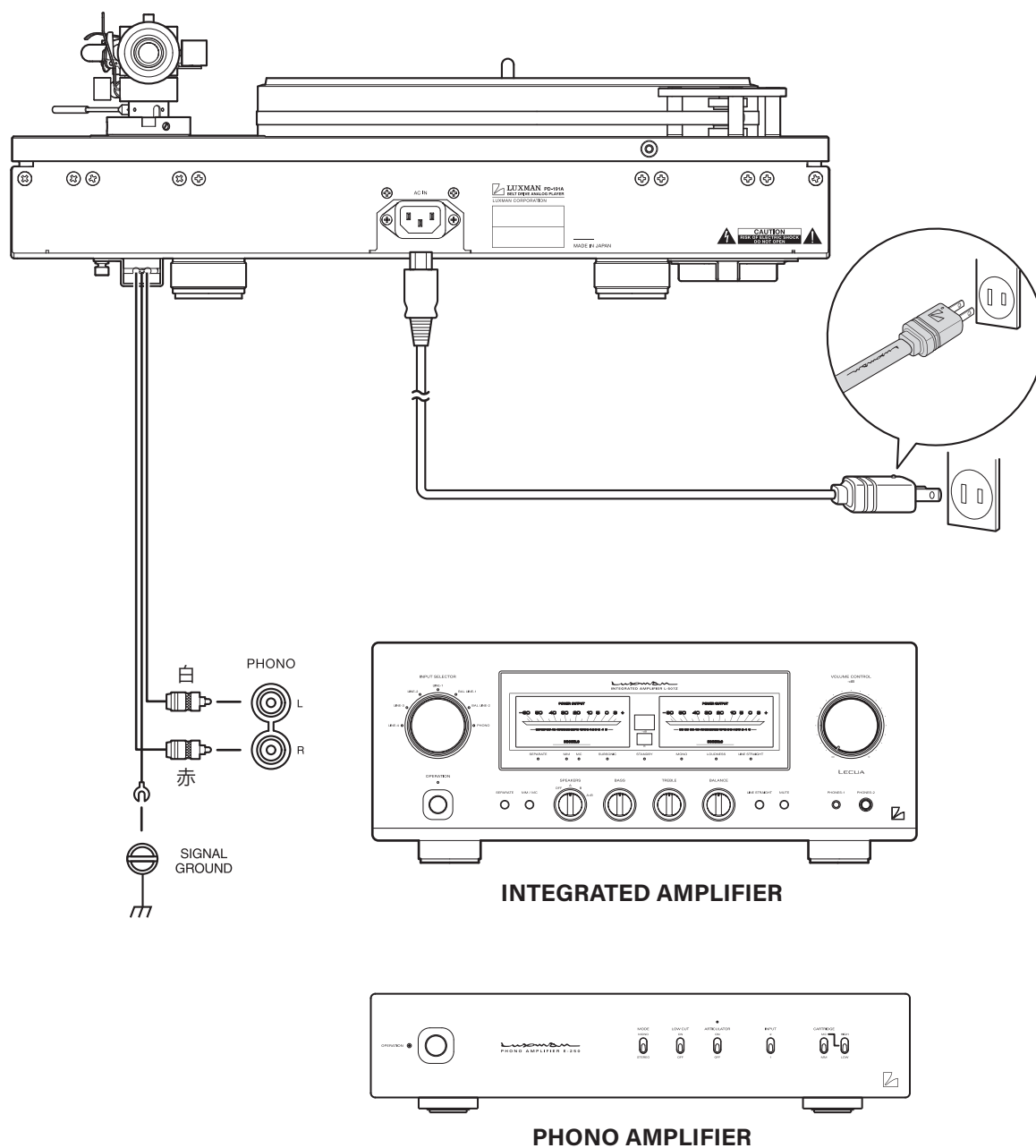
安全上のご注意

 **注意**



本機は重いので、開梱や組立て、持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。

接続方法



イラストのトーンアームは一例です。

接続する前に

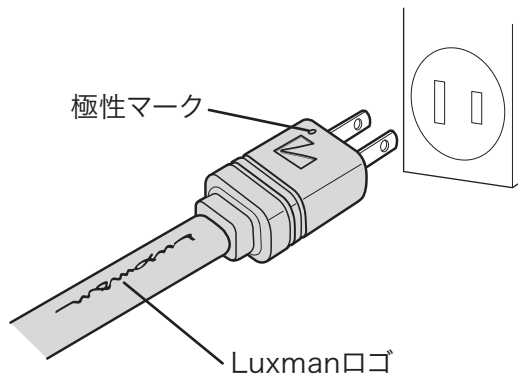
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック部（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源と併用機器の電源をすべてオフにしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。プラグにある極性マークがコンセントに向かって左側にあるように（ケーブルの Luxman ロゴが見えるように）AC プラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



フォノイコライザーアンプやプリメインアンプへの接続

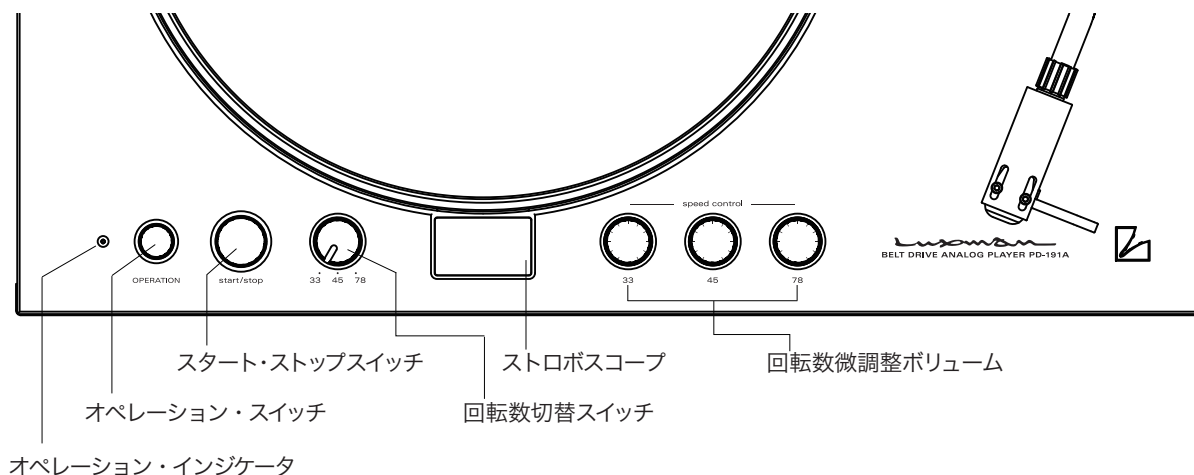
フォノケーブルのピンプラグをフォノイコライザーアンプやプリメインアンプの PHONO 端子に接続します。ピンプラグの白を Lch、赤を Rch に接続してください。

アース用コードの接続

併用するフォノイコライザーアンプやプリメインアンプのシグナルグラウンド端子に接続してください。

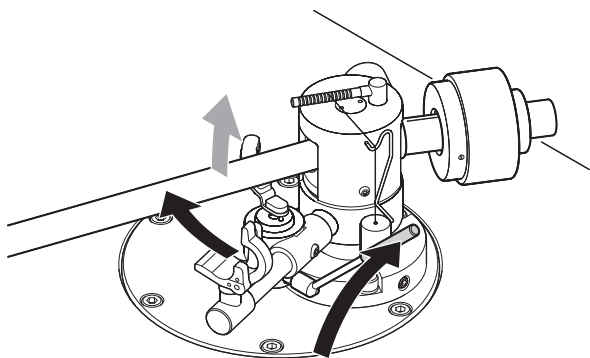
接続しないと音楽信号にハムノイズが乗ることがあります。

操作方法

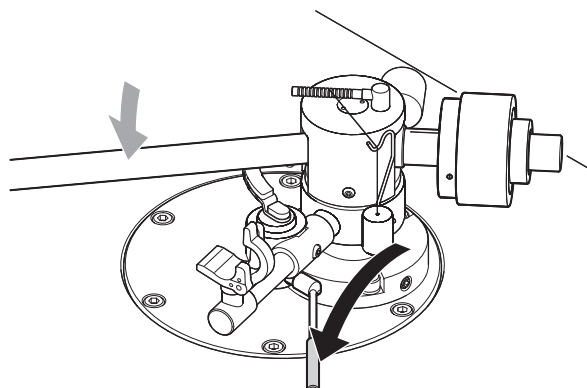


再生方法

1. オペレーション・スイッチ（OPERATION）を押しオンにするとオペレーション・インジケータが青色に点灯します。
2. レコード盤をセンタースピンドルに合わせターンテーブルに装着します。
EP 盤は EP アダプターを使用して装着します。
3. レコード盤に合わせて回転数切替スイッチで回転数（33/45/78）をセットしてスタート・ストップスイッチを押すとターンテーブルが回転します。
4. ストロボスコープの表示見ながら回転数を微調整してください。
(7 ページ参照)
5. アームリフターを上げ、トーンアームをアームレストから外し、再生させたい位置まで移動させます。



6. アームリフターを下げるとトーンアームが下がり、再生が始まります。



針先がレコード盤に接地してからアンプのボリュームを上げてください。ボリュームが上がったままで針先がレコード盤に接地するとスピーカーより大きな音が出ることがあります。

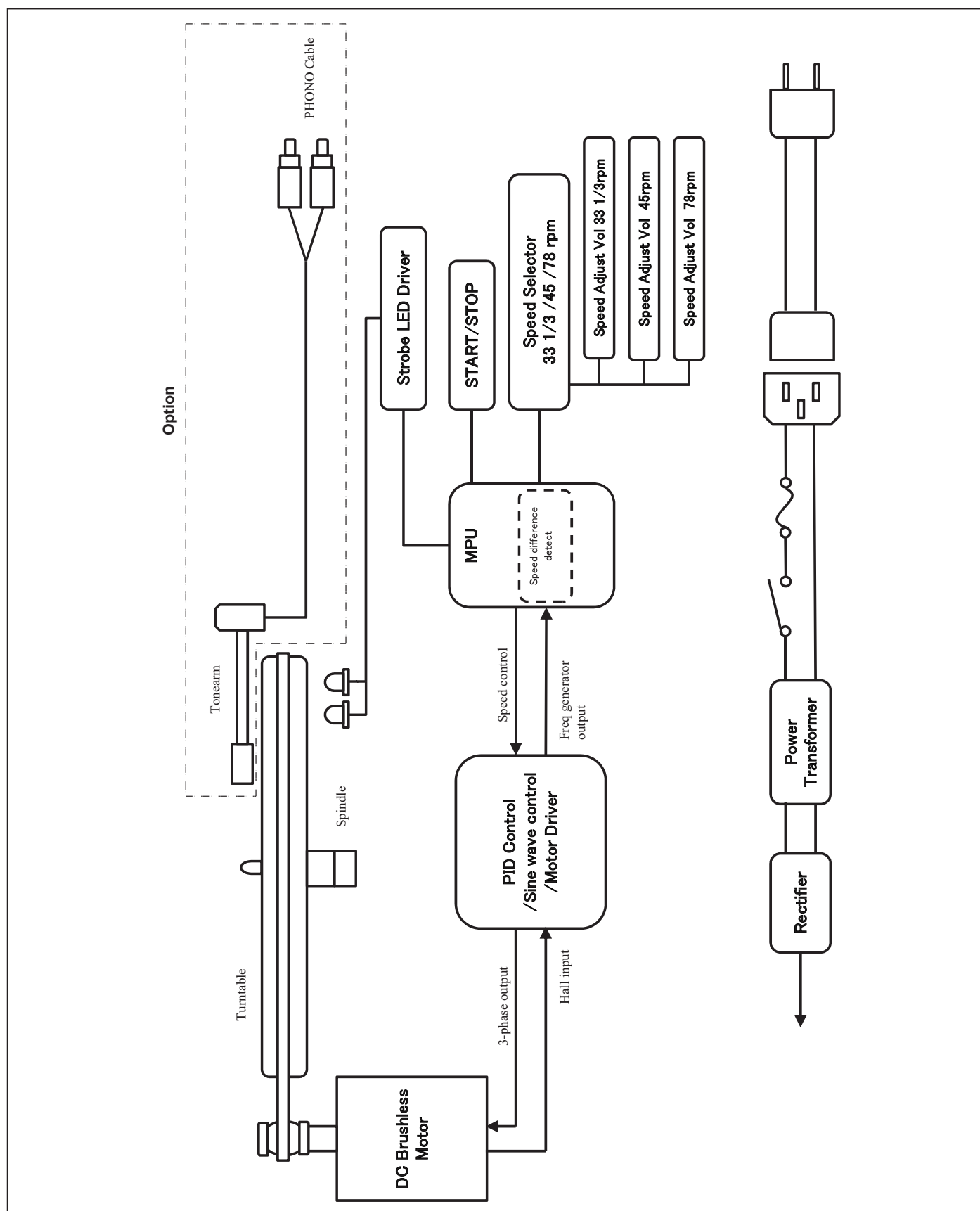
7. 再生が終わりましたらアームリフターを上げ、トーンアームをアームレストに戻し、スタート・ストップスイッチを押してターンテーブルを停止させます。

針先の破損やレコード盤の傷を防ぐため、トーンアームの上げ下げにはなるべくアームリフターをお使いください。

イラストのトーンアームは一例です。

ブロックダイアグラム

Luxman
BELT DRIVE ANALOG PLAYER PD-191AL



規格

フォノモーター部	
駆動方式	ベルトドライブ方式
モーター	PID 制御 DC ブラシレスモーター
ターンテーブル	30cm アルミ材削り出し（質量 5.2kg）
回転数	33 ⅓回転、45 回転、78 回転（3 スピード切替）
回転数調整範囲	± 6%（各回転数独立調整可能）
ワウ・フラッター	0.04%（W.R.M.S）以下
付属装置ほか	
付属装置	[トップパネル部] ・電源スイッチ ・スタート・ストップスイッチ ・回転数切替スイッチ ・ストロボ・スコープ ・回転数微調整ボリューム（33 ⅓回転、45 回転、78 回転）
	[リアパネル部] ・AC インレット [ボトム部] ・インシュレーター
付属品	・ターンテーブル ・電源ケーブル（JPA-15000） ・ゴムベルト ・EP アダプター ・プーリーカバー ・ターンテーブルシート ・ターンテーブル取り付けハンドル（2 個） ・ロングアーム取り付け部飾りねじ取り外しレンチ（2.0mm） ・アームベース取り付けレンチ（3.0mm） ・フォノケーブル固定クッション（3 種類）
	・取扱説明書（本書） ・プレミアム延長保証登録申請書 ・保証書 ・安全上のご注意
電源電圧	AC100V（50/60Hz）
消費電力	5W（電気用品安全法の規定による）
質量	23kg
外形寸法	491（W）× 128（ターンテーブル上面まで）（H）× 399（D）mm
許容動作温度 / 湿度	-5℃～+ 35℃ / 5%～85%（結露のないこと）

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひととおり確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費などをいただくことがあります。

症 状	原 因	対 策	参照ページ
オペレーション・スイッチを押しても電源が入らない	・電源プラグが本体の AC インレットや家庭用コンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグを確実に差し込む。	15
ターンテーブルが回転しない	・ベルトが正しくかかっている。	・ベルトを正しくかける。	12
	・オペレーション・スイッチがオンになっていない。	・オペレーション・スイッチをオンにする。	16
	・スタート・ストップスイッチが押されていない。	・スタート・ストップスイッチを押す。	16
ストロボが流れる	・回転数調整が取れていない。	・回転数微調整ボリュームで正しく調整する。	7
音が出ない	・リードワイヤーとカートリッジ、またはヘッドシェルとトーンアームの接続が不完全。	・リードワイヤーを確実に差し込む。プラグインナットをしめてヘッドシェルとアームをしっかり固定する。	14 ~ 15
	・フォノケーブルが正しく接続されていない。	・フォノケーブルを正しく接続する。	
	・フォノイコライザーやインテグレートッドアンプなどの設定や接続が正しくない。	・機器間の接続、フォノイコライザーやインテグレートッドアンプなどの電源、ボリューム位置、セクターの設定などを確認する。	
音量が小さい、または大きい	・フォノイコライザーやインテグレートッドアンプなどのカートリッジ設定が正しくない。	・フォノイコライザーやインテグレートッドアンプなどのカートリッジ設定をお手持ちのカートリッジの種類（MC/MM）に合わせる。	
音像がふらつく、左右のバランスが悪い	・プレーヤー本体が傾いている。	・本機を水平で安定した場所に設置する。インシュレーターをまわして調節する。	8、12
	・アンチスケーティングの調整が正しくない。	・アンチスケーティングを正しく調整する。	
	・カートリッジが水平に取り付けられていない。	・水平バランスを調整する。	
演奏スピードが正しくない	・回転数が正しく調整されていない。	・レコード盤に合わせ回転数を選び、回転数微調整ボリュームで正しく調整する。	7

修理に出される前に

症 状	原 因	対 策	参照ページ
ハムノイズ（ブーン音）が出る	・アース線が接続されていない。	・アース線を GND 端子に接続する。	14 ～ 15
	・フォノケーブルが正しく接続されていない。	・フォノケーブルを正しく接続する。	14 ～ 15
	・ヘッドシェルとカートリッジが正しく固定されていない。	・ヘッドシェルとカートリッジをビスとナットで正しく固定する。	
音とびする、ノイズ（ポツポツまたはバチバチ音）が乗る	・針圧が正しく調整されていない。	・お手持ちのカートリッジに合わせて針圧目盛を適切値に設定する。	
	・レコード盤に傷や反り、汚れがある。静電気を帯びている。	・傷や反りのあるレコード盤の使用を避ける。 レコード盤を市販のクリーナーなどでクリーニングする。	
	・針先に汚れがある。	・針先の汚れを取る。	
	・振動のある場所に設置されている。	・外部からの振動により音とびすることがあるため、本機を水平で安定した場所に設置する。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときは、電源ケーブルを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。

これで解決しないときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターにご相談ください。

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはご購入店までご連絡ください。状況に応じた修理をさせていただきます。

本機の保証期間はご購入日より起算して標準2年間、または、プレミアム延長保証適用の場合、3年間（ただし、ゴムベルトなどの消耗品は1年間）です。

標準2年間の保証書およびプレミアム延長保証登録申請書は本機のパッキングケース内に入っています。

プレミアム延長保証適用条件

弊社正規取扱店での購入証明（領収書やレシートの複写）を貼り付けたプレミアム延長保証登録申請書を弊社宛てにご返送ください。

※正規取扱店につきましては、弊社ホームページをご覧くださいか、弊社営業部までお問い合わせください。

- プレミアム延長保証制度では、製品に同梱される保証書による標準2年間の保証に加え、下記に分類する製品の種類により、保証期間を延長いたします。保証期間につきましては、後日お届けいたします「クラブ・ラックスマン」カードに記載されます。「クラブ・ラックスマン」カードはプレミアム延長保証適用の保証書となります。
- 製品別プレミアム延長保証期間
プラス5年（計7年間保証）：トランジスターアンプ、D/A コンバーター
プラス1年（計3年間保証）：真空管アンプ、CD/SACD プレーヤー、アナログプレーヤー
（現保証期間が5年間の製品は7年間、真空管等の消耗品は1年間となります。）
- プレミアム延長保証が適用とならない場合は、標準の2年間保証となり、修理の際は、製品に同梱される保証書と購入証明が必要となりますので、大切に保管してください。プレミアム延長保証が適用とならない場合は以下のとおりです。
 - ・ご購入店が弊社正規取扱店でない場合
 - ・「プレミアム延長保証登録申請書」のご送付が無い場合
 - ・弊社正規取扱店の購入証明が無い場合
 - ・購入証明の日付が弊社出荷日と著しく異なる場合（プレミアム延長保証登録をせず転売された場合等）

保証規約

製品は厳密な品質管理及び検査を経て出荷されておりますが、万一の自然故障の際には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでお問い合わせください。保証の条件は以下記載のとおりです。

- 万一の自然故障につきましてはご購入日より保証書または「クラブ・ラックスマン」カード表面記載の保証期間無償修理いたします。（ただし真空管等の消耗品は1年間）
- 保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合、また保証期間外の修理の場合は有償にて承ります。
- 保証期間内であっても次の様な場合は保証対象外となり、修理は有償にて承ります。
 - ・保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合
 - ・使用上の誤り、改造、業務目的または海外でのご使用による故障、損傷
 - ・本製品以外（電源等）の原因による故障
 - ・火災、地震、水害、落雷およびその他の天変地変等による故障または損傷
 - ・オーバーホールおよび動作チェック等の点検作業
- 修理料金につきましては、予告なく変更することがあります。
- 本保証書および保証制度は日本国内のみ有効であり、海外でのご使用時には適用されませんので、ご注意ください。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書および「クラブ・ラックスマン」カードの紛失、盗難等による再発行は、原則としていたしませんので、大切に保管してください。また、保証書およびカードの不正な使用、改造の場合、保証効力が失効する場合がありますのでご注意ください。
- 修理品につきましては、ご購入店にご相談いただくか、直接弊社宛てにご送付ください。製品の梱包箱等はできるだけ保管いただきますようお願いいたします。
- プレミアム延長保証期間中の修理品輸送費につきましてはお客様負担となります。
- 修理品をご送付いただく場合は、輸送中の破損等の事故が無いようにご注意ください。弊社では輸送中の事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 修理のご依頼、お問い合わせにつきましては、別紙のサービス情報をご覧ください。

MEMO

